

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	－	－	－
(中国)	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出と梅雨入りがほぼ同時期に重なって、特に夕方以降、来客数が増加している。
	○	スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数や客単価が前年を上回っている。家で食事する人が多く、一般客の売上が増加している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・工事関係者の来客数、特に昼間の工事関係者の来客数が伸び悩んでいるが、全体では来客数は回復傾向にある。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・前年と比べ、来客数は改善傾向にある。自粛期間中のため、近隣の販売店で食事を済ませるケースが増えている。しかし、前々年と比べると、来客数は減少している。
	○	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが長引き、まだ終息の見通しも立たないが、感染急拡大のリスクの程度も何となく見えてきている。客が在宅のスタイルにも慣れ、サービスや消費について、少し落ち着いて向き合える時期にきている。
	○	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べると、電話投票の売上が増加している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・地域振興券や宿泊補助など自治体からの補助があるが、特定の業種に偏っているのか、必要以上に購入しないようにしているのか、活発な購買にはつながっていない。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の人通りが少しずつではあるが元に戻ってきている。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客の不安も少しずつ減少している。
	□	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出中で、巣籠り需要に陰りもなく、生活必需品の食品スーパーは好調に推移している。
	□	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・新規の客が減少しており、インターネット販売も30%以上の減少が続いている。
	□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ほとんどの部門の売上が前年より良くなっているが、前々年の水準までは戻っていない。美術品は絵画や工芸などの催事が好調で、前々年以上の売上となっているが、観光部門の売上はゴールデンウィーク期間中の緊急事態宣言の影響で低調となっている。
	□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・巨匠の美術品や若手作家の絵画が売れているが、時短営業等が続けば、どうなるか分からない。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍で、客の来店頻度が低下、週末やセール時に客が集中し、まとめ買いも多くなっている。近隣やエリア内学校での感染者の発生で客の新型コロナウイルスに対する警戒心が強くなり、特に緊急事態宣言発出以降、客の警戒心は一段と強くなっている。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・大幅に売上を伸ばした前年5月並みの売上を確保しており、現状では景気はやや上向いている。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍で客の来店頻度が上がらず、来客数の低迷が続いている。
	□	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・5月16日の緊急事態宣言発出以降、売上は前年を下回っているものの、3か月前と比べると増加している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数、客単価いずれも前年を上回っているが、前々年の水準には届いていない。	
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・展示会の来客数は余り多くなかったが、販売につながっている。	
□	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・5月の販売は前年をやや下回っている。	
□	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数が若干減少しており、客単価も伸び悩んでいる。	
□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出の影響で、人が動かなくなり、売上が減少している。	

□	その他専門店 [時計] (経営者)	来客数の動き	・消費者が生活防衛のため買い控えしているのか、前月と比べると来客数が減少している。
□	その他専門店 [和菓子] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、景気は変わらない。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、ビジネス客、観光客いずれも落ち込みが継続している。
□	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始しているが、全員が接種することにならないと、当分は客が旅行に行く状況にはならない。
□	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・特に消費意欲が3か月前と比べ減退した印象はなく、インターネットの速度アップや有料チャンネルの追加契約などの巣籠り商品の需要は堅調である。
□	通信会社 (工事担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の客の動向を見る限り、景気に変化はない。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・客の来場や問合せは活発ではないが、減少もしていない。購入意欲は高いので、新型コロナウイルスの感染が落ち着けば上向きに推移しそうである。
□	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言に入ってから、引き合いがほとんどなくなっている。
▲	商店街 (代表者)	単価の動き	・客がどうしても必要な商品しか購入してくれないため、危機的な状況にある。
▲	商店街 (理事)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で、現在は例外的な状況かもしれないが、いろいろなことを自粛している影響で、景気が停滞している。
▲	一般小売店 [茶] (経営者)	来客数の動き	・家庭にストックがあり、客が消費を抑えているのか、今月に入り、来客数が減少し、小売部門の売上がかなり落ち込んでいる。
▲	一般小売店 [印章] (経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークで長期の休日があったが、新型コロナウイルス対策の自粛で活発な動きはなく、景気はやや悪くなっている。
▲	百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・前月末から今月上旬にかけてのゴールデンウィーク期間中は前年と比べ、若者を中心に来客数が多かった。ただ、中旬以降は県内の新型コロナウイルス感染者数が急増したため、来客数や売上が厳しい状況になっている。
▲	百貨店 (売場担当)	来客数の動き	・物産展の休止等の影響があり、来客数が前年の7割程度で推移している。近隣自治体の緊急事態宣言が継続しているため、今後もこの状況に変化はない。
▲	百貨店 (営業企画担当)	販売量の動き	・来客数は前年より増加傾向にあるが、全国だけでなく、近隣でも新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、ファッションを中心に売上が悪化している。このまま緊急事態宣言が継続すれば、地方百貨店ではアパレルメーカーの撤退が続く可能性があり、飲食や土産物の売上也激減する。
▲	百貨店 (外商担当)	それ以外	・緊急事態宣言の発出による外出の自粛や休業の影響で、景気はやや悪くなっている。
▲	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数が前年を下回っており、客単価や買上点数でも売上がカバーできていない。
▲	スーパー (店長)	単価の動き	・来客数は前年の水準まで回復しているが、客が無駄な買物をしない傾向にあるため、客単価が伸びていない。
▲	スーパー (業務開発担当)	来客数の動き	・客の来店頻度が減少し、青果を中心に価格も下がっていることから、厳しい状況である。
▲	スーパー (販売担当)	来客数の動き	・客単価や買上点数が伸び悩んでいる。
▲	コンビニ (支店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で来客数が減少している。
▲	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で、不要不急の外出自粛が要請され、訪問販売もイベントの開催もできず、客もほとんどいない。
▲	家電量販店 (販売担当)	来客数の動き	・前年支給された特別定額給付金の給付がないため、景気はやや悪くなる。

▲	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出以降、一般の来客数が減少している。 また、例年この時期に行う大型のフェアも開催できない。
▲	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言の影響なのか、客が少なく、販売にも結び付いていない。
▲	その他専門店 [布地] (経営者)	お客様の様子	・毎日新型コロナウイルスのニュースばかりで、地方では高齢者が恐怖で街に出ず、買物する気分になっていない。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	来客数の動き	・4月中旬頃から県内の新型コロナウイルス感染者数が急増し、ゴールデンウィーク後半から客の出足が鈍くなっている。緊急事態宣言の発出で、大型商業施設には時短に加えて、土日休業要請が出され、客の自粛ムードも高まっているため、売上や集客が大きな影響を受けている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	お客様の様子	・前年の自粛期間と比べると、客の危機感は薄れ、危機感はあるも外出を控える意識が低いため、来客数は多くなっている。ただ、新型コロナウイルスの感染者数が前年よりも多く、緊急事態宣言も発出されたことから、客の不安感が高まっている。目的買いの客が多く、客が余分な消費を行わない傾向にあるなど、景気は確実に悪化している。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・5月上旬から夜の来客数の減少傾向が強まっており、集客策も打ちにくい状況であることから、非常に苦慮している。
▲	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言への移行で、営業縮小に加え、アルコール提供の中止をせざるを得ない状況となったため、宿泊、レストランいずれも予約のキャンセルが相次いでいる。駅周辺の大型商業施設も、営業時間の短縮、土日の営業中止などで、買物客が激減し、売上の見込みが全く立っていない。
▲	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言を受けて、来客数が減少している。
▲	旅行代理店 (支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの終息がみえず、ドメインである旅行の需要回復が見込めず、Go To Travelキャンペーンの再開も期待できないため、景気は回復しない。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、大型連休も帰省客や旅行者がほとんどおらず、夜の飲食関係も冷え込んでいるため、厳しい状況が続いている。
▲	通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・新規契約者数がこれまでに比べ少なくなってきた。
▲	放送通信サービス (総務経理担当)	お客様の様子	・利用料の延滞金額、延滞件数いずれも上昇傾向にある。
▲	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・来客数が通常時の半分以下となっている。
▲	観光名所 (館長)	来客数の動き	・緊急事態宣言による来客数の減少で、景気はやや悪くなっている。
▲	観光名所 (管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあった前年と比べても、来客数は10%程度減少している。
▲	ゴルフ場 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、予約のキャンセルが増加している。また、梅雨入りが早くなったため、来客数も減少している。
▲	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・米国や中国などで木材需要が急増し、国内で木材が不足、戸建て住宅の工期遅れや建築価格の上昇が発生しているため、客に悪影響が出てきている。
▲	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出され、客との商談が中止となり、オンラインでの商談に切り替えているが、なかなか進まない。
▲	住宅販売会社 (営業所長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言エリア外でも、県独自の対策が要請され、商談のキャンセル件数が増加傾向、商談の精度も低下している。
×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、景気の悪い状況が続いている。

×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・行政無線で毎日必要以外の外出を控えるよう呼び掛けられていることから、客が買物に行きづらくなっている。
×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	販売量の動き	・客が少なく、販売量も増加しない。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、週末に休業しているため、来客数が減少し、売上の減少幅が拡大している。
×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で、土日の休業を要請され、食料品や化粧品のための販売となり、平日の来客数や売上も激減している。
×	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出されて以降、客の外出や消費に対する意欲が明らかに低下している。来客数が日々減少しており、非常に厳しい状況になっている。
×	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で、来客数が半減し、売上も前年の6割程度の見込みである。
×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少し、売上も上がっていない。
×	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出以降、来客数が前年から半減、売上も悪化している。
×	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で、来客数はおろか、土日になっても道路に車が走ってない。新型コロナウイルスの感染者数の増加で、今まで以上に動きが鈍くなり、購買意欲も低下している。
×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で、前年同様、商品が動かない。今後に対する不安もあるのか、客の財布のひもは非常に固い。
×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で休業を余儀なくされ、出荷者、関係業者、出店者などが非常に困っている。
×	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の対象地域となってから、客が一段と遠のいている。
×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の発出で、対象地域の店舗が休業となり、営業を継続している店舗の利益を食い潰している。また、主力商材である輸入牛肉の値上がりで、原価率が上昇し、利益が圧迫されている。週末のディナータイムの状況は、月を追うごとに悪化している。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今回の緊急事態宣言の発出で、時短営業でなく、休業を要請され、営業ができないため、景気はかつてないほど悪い状況になっている。
×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が著しく減少している。ゴールデンウィークもイベントが無観客になった影響もあり、売上は例年の3割程度となっている。緊急事態宣言の発出に伴い、店は休業となっている。
×	バー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる時短要請の影響で、景気は悪くなっている。
×	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で、景気は悪くなっている。
×	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出後、予約が全く入らず、キャンセルが続出している。
×	観光型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で施設を休業しているため、人の動きが全くない状況である。
×	タクシー運転手	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で、夜の街にはほとんど人がいない。営業所の運転手は100人くらいいるが、そのうち35人が休んでいる状態で、かつてないほど厳しい状況である。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第4波の影響で、人の動きがなくなり、売上が激減している。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されたため、状況が悪くなっている。
×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客が物を購入する余裕が余りないようである。

	×	その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	来客数の動き	・緊急事態宣言中であり、今後もその影響がどの程度残るかが不明である。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で、客が外出を控え、来店しなくなっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・前年と比べ、来客数や売上がかなり落ち込んでおり、景気はかつてないほど厳しい状況である。
企業動向関連	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産に回復の兆しが見られる。
(中国)	○	繊維工業（監査担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で中止となっていた行事や催事が再開され、人の動きが活発となり、売上に結び付いている。前売り状況は、全国的に前年から増加している。
	○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼向け需要の回復で生産量が増加、新型コロナウイルス禍での従業員の感染、濃厚接触者の自宅待機等による労働日数喪失があり、時間外労働は増加している。
	○	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上や受注動向が上振れしている。
	○	鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・遅れながらも価格交渉が進んできている。
	○	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・4月までは雇用調整助成金を申請しながら帰休を行っていたが、5月は定時工数をやや割るものの帰休なしで操業している。
	○	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・業種によってはばらつきはあるが、自動車部品、輸出用機械等には復調の兆しがある。
	○	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・今月に入り、データセンターの引き合いが多くなっている。前年度から取引先で計画されていたことが一気に新年度になって需要として動き始めている。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産量が余り変化していない。
	□	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・自動車産業の動向によるところが多く、常に動向を注視している。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料関係の受注量は新型コロナウイルス発生前と変わらず順調である。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・半導体問題が景気に悪影響を与えている。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・木材等資材の納期や価格の変動、新型コロナウイルスの影響による計画の遅延等気掛かりな部分もあるが、順調に受注ができています。
	□	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・前年は1回目の緊急事態宣言が発出されていたため、個人の荷動きが好調だったが、今年の個人の荷動きは低迷している。会社関係の荷物はどんどん小口化され、小口荷物の多発送という状況になっている。
	□	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・今年に入って緊急事態宣言等もあるが、受注には影響していない。
	□	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元の完成車メーカーの世界販売実績は計画を下回る状態が続いている。このため、系列の地元部品メーカーの受注は、月次採算で黒字を確保できているが、2年前の好調時と比べると1～2割程度下回っている。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の動きが悪く、受注量や販売量が増加しない。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で減少する業務がある一方で、新型コロナウイルス対策支援業務やリスクヘッジのためのアウトソーシング受託業務は増加しているため、全体では変わらない。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月中旬まで受注量が落ち込み、中旬以降、徐々に回復しているが、依然として厳しい状況が続いている。

	▲	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの変異株の拡大が収まらない状況で、海外の輸送運賃の上昇による原材料費の値上げなど費用が増加していることから、景気はやや悪くなっている。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響により、部品の中には仕入先から調達できないものがあり、製造ラインの見直しが必要な製品がある。また、既存納入部品の単価も毎月のように値上げされ、現状、仕入先の変更も困難なため、仕入価格の上昇を当社が吸収せざるを得ない状況にある。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は計画を大幅に下回っている。新型コロナウイルス禍で営業が難しくなっていることもあるが、それ以上に半導体不足による影響が大きくなっている。
	▲	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3月後半から4月に掛けて例年並みに持ち直しつつあった受注がゴールデンウィーク明けから止まり、例年の7割程度となっている。
	▲	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・特にエンドユーザーが飲食店や観光と絡む取引先の業況は更に厳しさが続いている。
	▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べ、来客数や成約件数が減少している。
	×	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出されたため、飲食店が軒並み休業となり、市場への買い付け人数が激減している。
雇用 関連  (中国)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・緊急事態宣言の発出の影響で、景気は良くなっていない。
	□	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・新型コロナウイルス禍で求職者数の減少傾向が続いている。
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・新卒就活生の動きは前年よりも早い。3～4月に掛けてものすごい勢いで合同説明会、自社説明会、選考会へと進み、5月に入ってその動きがピタリと止まっている。志望企業を3月1日以前にざっくりと決めている学生も多く、3月1日から本番開始というよりも、それまでにインターンシップなどで志望企業を絞り込み、3月1日から一斉にスタートするという印象である。複数企業を対象に動いていても、志望の企業から内定が出ると、ピタリと就活をやめてしまう傾向が多い。また、中途採用も回復傾向にある。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・前年と比べ、新卒者の内定率が上昇している。内定を得ても、引き続き就活に意欲的であり、今後は内定辞退者が多く出ると見込んでいる。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、全体では前年並みとなっているが、業種によって、また同業種でも扱う品目によって差が大きくなっている。
	□	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・求人数は前年と比べ増加しているが、業界により業績の回復の差が出ている。
	▲	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・景気は緩やかな上昇基調にあったが、新型コロナウイルス第4波の影響で、再び求人や求職者の動きが鈍ってきている。求人は正社員性のあるものが減少傾向、求職者は離職中ではなく職に就いている人が何か良い仕事があれば転職したいという動機で登録されるケースが目立つ。
	▲	人材派遣会社（経営戦略担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、新規求人数の減少が顕著になっている。
	▲	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言の発出で、企業の採用意欲が損なわれている。
	▲	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染が雇用情勢に与える影響は大きく、令和2年4月に1.92倍であった有効求人倍率が、令和3年3月には0.49ポイント低下し、1.43倍となっている。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・取引先で新型コロナウイルスの感染者が出たことによる商談の中止、緊急事態宣言が発出されたことによる採用活動の一時中断など、動きが止まっている。

▲	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言による時短営業や休業要請で飲食関係の求人が大幅に減少している。新型コロナウイルスの終息に向け人材採用をした企業でも、再び人材削減の必要が生じ始めている。
▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	それ以外	・県内の新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴い、就職説明会等の実施が中止になるなどの影響が出ており、景気は悪化傾向にある。
▲	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、飲食業やサービス業等の求人数が減少している。
×	—	—	—